



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月5日

上場会社名 株式会社ミロク情報サービス 上場取引所 東
 コード番号 9928 URL http://www.mjs.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 是枝 周樹
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理本部長 (氏名) 滝本 訓夫 TEL 03 (5361) 6369
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	15,271	5.8	1,392	△7.2	1,403	△5.6	796	4.7
24年3月期第3四半期	14,440	4.0	1,501	84.8	1,486	82.9	760	128.8
(注) 包括利益	25年3月期第3四半期		834百万円 (13.0%)		24年3月期第3四半期		738百万円 (96.2%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	25.97	25.01
24年3月期第3四半期	24.82	24.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	15,205	9,096	59.7	295.76
24年3月期	15,431	8,615	55.8	280.54
(参考) 自己資本	25年3月期第3四半期	9,071百万円	24年3月期	8,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,230	3.2	2,070	2.3	2,050	2.5	1,100	3.9	35.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	34,806,286株	24年3月期	34,806,286株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	4,135,435株	24年3月期	4,134,860株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	30,671,132株	24年3月期3Q	30,663,483株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、東日本大震災後の復興需要などを背景に緩やかな回復傾向にありましたが、海外経済の減速や円高を背景に企業の景況感が悪化するなど、景気回復の動きが急速に弱まり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

ソフトウェア業界及び情報サービス業界におきましては、景気の先行き不透明感から、企業の本格的なIT投資意欲の回復には至らず、依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは第2次中期経営計画（平成24年3月期～平成26年3月期）の2年目を迎え、経営ビジョンである「顧客基盤と安定収入の拡大に継続的に取り組むとともに、インターネット技術を利用した多様化するビジネスモデルをはじめ、さまざまな環境変化に柔軟に対応できる経営基盤の確立」の実現に向け、積極的な取り組みを行っております。

会計事務所向けには、主力システム『ACELINK NX-Pro』を提供することにより、“事務所経営の最適化”による生産性の向上と付加価値の高い顧問先サービスの創出を支援しております。中堅・中小企業向けには、財務を核としたERPシステム『Galileopt NX-I』及び『MJSLINK II』を提供し、お客様の経営革新、業務改善を支援しております。各システムにおいて、継続的な機能強化や外部システムとの連携強化を図るとともに、お客様の経営支援につながるアライアンス製品を拡充するなど、多様化する顧客ニーズに対応すべくソリューション力の強化に努めております。また、お客様のリスクマネジメントを支援するセキュリティ関連商品の販売にも積極的に取り組みました。

一方、顧客基盤の拡大に向け、多彩なセミナー・研修会をはじめとする販売促進や広告宣伝活動、また、お客様へのソリューション提案力を強化するための人材教育活動に努めております。さらに、インターネット技術を利用したクラウドサービスやマルチデバイス対応など、新たなサービス開発に向けた研究開発を進めており、12月には、経費精算のクラウドアプリケーションの提供を開始しております。

お客様に対して最適な経営システム及び高品質なサービスを提供し、顧客基盤の維持・拡大を図ることにより、安定的な利益創出、企業価値向上に努めております。

このような事業活動により、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高152億71百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益13億92百万円（前年同期比7.2%減）、経常利益14億3百万円（前年同期比5.6%減）、四半期純利益7億96百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の品目別の業績は以下の通りであります。

（システム導入契約売上高）

ハードウェア売上高は、セキュリティ機器等の販売が好調に推移し、前年同期比28.2%増の20億18百万円、ソフトウェア売上高は、前年同期比1.9%増の62億74百万円となりました。ユースウェア売上高は、前年同期比4.6%増の17億41百万円となりました。

この結果、システム導入契約売上高の合計は、前年同期比6.8%増加し100億33百万円となりました。

※「システム導入契約売上高」は、システム導入契約時の売上高の合計として、ハードウェア、ソフトウェア、ユースウェア（システム導入支援サービス等）の売上高から構成されております。

（サービス収入）

会計事務所向けの総合保守サービスであるTVS（トータル・バリューサービス）収入は、前年同期比0.2%増の13億6百万円となりました。ソフト使用料収入は、会計事務所の顧問先企業向けの低価格な会計ソフト使用料収入が伸張し、前年同期比26.5%増の4億72百万円となりました。企業向けのソフトウェア運用支援サービス収入は、契約企業数が増加したため、前年同期比1.6%増の20億6百万円となりました。ハードウェア・ネットワーク保守サービス収入は前年同期比1.3%減の8億22百万円、サプライ・オフィス用品は前年同期比1.6%増の4億50百万円となりました。

この結果、サービス収入の合計は、前年同期比2.6%増加し50億60百万円となりました。

※「サービス収入」は、主に継続的な役務の対価となる安定的な収入として、ソフト保守やハード・ネットワーク保守、ソフト使用料収入、サプライ・オフィス用品等の売上高から構成されております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億25百万円減少して152億5百万円となりました。

主な要因は、流動資産では、現金及び預金が10億21百万円減少、商品が88百万円減少、受取手形及び売掛金が4億76百万円増加、仕掛品が73百万円増加したことによるものであります。固定資産では、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定が2億84百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億6百万円減少して61億9百万円となりました。主な要因は、借入金が1億55百万円増加、社債が1億52百万円減少、未払法人税等が4億43百万円減少、賞与引当金が3億41百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億81百万円増加して90億96百万円となりました。また、自己資本比率は59.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月10日の「平成24年3月期 決算短信」で公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4,455千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,992,194	2,970,261
受取手形及び売掛金	2,841,824	3,318,417
有価証券	100,000	100,000
商品	293,806	205,601
仕掛品	158,366	231,667
貯蔵品	28,521	44,646
その他	682,671	703,971
貸倒引当金	△17,015	△24,237
流動資産合計	8,080,369	7,550,327
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,729,912	2,728,341
その他(純額)	1,273,186	1,314,484
有形固定資産合計	4,003,099	4,042,825
無形固定資産		
ソフトウェア	1,385,469	912,929
ソフトウェア仮勘定	37,794	794,475
その他	22,124	18,217
無形固定資産合計	1,445,388	1,725,622
投資その他の資産		
その他	1,918,861	1,904,484
貸倒引当金	△15,947	△17,329
投資その他の資産合計	1,902,913	1,887,155
固定資産合計	7,351,401	7,655,602
資産合計	15,431,771	15,205,929
負債の部		
流動負債		
買掛金	607,635	626,625
短期借入金	1,100,000	955,000
1年内返済予定の長期借入金	467,600	683,700
1年内償還予定の社債	252,000	220,000
未払法人税等	587,555	144,012
賞与引当金	484,577	142,841
その他の引当金	48,436	41,839
その他	1,926,420	1,997,617
流動負債合計	5,474,224	4,811,638
固定負債		
社債	410,000	290,000
長期借入金	819,000	903,000
引当金	23,873	23,872
資産除去債務	16,929	17,221
その他	72,182	63,486
固定負債合計	1,341,985	1,297,580
負債合計	6,816,209	6,109,218

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,198,380	3,198,380
資本剰余金	3,013,389	3,013,389
利益剰余金	3,650,341	4,078,955
自己株式	△1,164,953	△1,165,096
株主資本合計	8,697,157	9,125,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△75,071	△39,904
繰延ヘッジ損益	△17,588	△14,643
その他の包括利益累計額合計	△92,660	△54,548
新株予約権	11,063	25,630
純資産合計	8,615,561	9,096,711
負債純資産合計	15,431,771	15,205,929

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	14,440,960	15,271,422
売上原価	4,804,184	5,468,822
売上総利益	9,636,776	9,802,600
返品調整引当金戻入額	20,685	24,002
返品調整引当金繰入額	28,513	41,839
差引売上総利益	9,628,948	9,784,763
販売費及び一般管理費	8,127,908	8,392,402
営業利益	1,501,040	1,392,360
営業外収益		
受取利息	4,038	3,169
受取配当金	7,203	10,823
保険配当金	14,049	25,784
その他	15,955	18,059
営業外収益合計	41,248	57,836
営業外費用		
支払利息	53,944	44,510
その他	2,173	2,206
営業外費用合計	56,117	46,716
経常利益	1,486,171	1,403,480
特別利益		
投資有価証券売却益	2,091	—
貸倒引当金戻入額	1,910	—
特別利益合計	4,001	—
特別損失		
固定資産売却損	—	721
固定資産除却損	5,686	2,350
減損損失	364	9,588
投資有価証券売却損	—	1,059
投資有価証券評価損	631	—
会員権退会損	—	6,750
その他	—	2,565
特別損失合計	6,682	23,036
税金等調整前四半期純利益	1,483,490	1,380,444
法人税等	722,500	583,772
少数株主損益調整前四半期純利益	760,990	796,671
四半期純利益	760,990	796,671

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	760,990	796,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,820	35,166
繰延ヘッジ損益	7,657	2,945
その他の包括利益合計	△22,163	38,111
四半期包括利益	738,827	834,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	738,827	834,783
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。